

# 令和6年度 経営方針 学校経営の概要(佐世保特別支援学校)

## 1 校訓

健康 協力 自立

## 2 学校教育目標

児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を通して、健康で日々楽しく生きがいをもって生活できる力や、自ら考え主体的に行動できる力を身に付け、他を思いやる心をもって積極的に社会参加し役割を果たしながら、生涯にわたって自分らしい豊かな人生を送ろうとする人間を育成する。

めざす学校像	めざす児童生徒像	めざす教師像
○児童生徒の人権を尊重しいのちを大切に する学校 ○児童生徒が楽しく生き生きと学ぶ学校 ○県民に信頼され、県北地域の特別支援教育に貢献する学校	○健康でたくましく、生きぬく児童生徒 ○思いやりのある心豊かな児童生徒 ○自立し社会に参加・貢献しようと努力を続ける児童生徒	○子どもに寄り添い、子どもとともに歩む教師 ○専門性を高め、成長し続ける教師 ○保護者や地域から信頼される教師

## 3 学校経営目標

- ① 第二期長崎県特別支援教育推進基本計画・第一次実施計画に基づき教育環境整備・教育活動の充実に努める。
- ② 児童生徒一人一人がこれからのよりよい社会(共生社会)の創り手となるよう「社会に開かれた教育課程」の実現を図り、不断のカリキュラム・マネジメントにより教育活動の質の向上に努める。
- ③ 児童生徒一人一人の命と人権を尊重し、障害特性や発達段階、教育的ニーズに応じた愛情あふれる教育の充実に努める。
- ④ 全教職員が融和協調して教育目標の達成を図り、創意と活気に満ちた学校づくりに努める。
- ⑤ 知肢併設校の特色ある教育活動に取り組むとともに、小中高の一貫した指導に努める。
- ⑥ 学校と家庭・地域・医療・福祉機関等との連携を密にし、生涯を見据えた指導に努める。
- ⑦ 県北地域の特別支援教育の充実・発展のため、特別支援教育のセンター的機能の発揮に努める。
- ⑧ 児童生徒数の増加、実態の多様化に伴い、必要な施設改修を進めるとともに、教室環境の改善に努める。
- ⑨ 県民の信頼に応える教職員をめざし、不祥事0(ゼロ)の学校づくりに努める。
- ⑩ 校務DX化等、業務の効率化や合理化により働き方改革を推進する。

## 4 本年度努力目標

(1)児童生徒の人権を尊重し、いのちを大切に  
する学校づくりをめざす。

- ① 体罰等によらない指導を徹底し、児童生徒の人権や内面を尊重した指導・支援を行う。
- ② 教育環境の日常的な整理整頓と学習環境チェックリストの確実な実施を行う。
- ③ 危機管理マニュアル、スクールバス利用規定等の改善、医療的ケア児の通学支援の円滑な運用等、安心・安全な教育活動の実践を行う。
- ④ 防災教育の充実、必要な備蓄品管理を進めるとともに、地域と連携した避難所運営をめざす。

(2)児童生徒が楽しく生き生きと学ぶ学校  
づくりをめざす

- ① 単元別指導計画表を活用したカリキュラム・マネジメントを行う。
- ② 自立活動の指導力の向上をめざすとともに、「自閉症指導スタンダード」の確実な実践をめざす。
- ③ 一人一台端末を活用し、教科の学びを深め、双方向につながる授業の展開を図る。
- ④ 研究授業等を通して教師自らが主体的に学び授業力向上をめざす。
- ⑤ 体験的な進路学習、進路情報の共有、進路面談などを計画的に実施することで希望進路100%をめざす。
- ⑥ 生涯学習や生涯スポーツ、生涯文化芸術活動の契機となるような教育活動の充実に努める。
- ⑦ キャリア教育全体計画を基に、キャリアパスポートの活用を図り、個々の児童生徒に応じたキャリア発達をめざす。
- ⑧ 知的障害教育・肢体不自由教育の各部門における小中高の系統的で一貫性のある指導の充実に努める。
- ⑨ 知的障害教育・肢体不自由教育の両部門の連携により特性に配慮した学習活動や共同学習の充実に努める。
- ⑩ 地域の環境や人々となつな  
がる活動を積極的に授業に取り入れ、地域と連携した教育活動の推進を図る。

(3)県民に信頼され、県北地域の特別支援教育に  
貢献する学校づくりをめざす。

- ① 県北地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮し、教育相談支援機能の充実に努めるとともに、市町の教育委員会と役割を分担しながらコーディネーター連絡協議会の企画運営を行う。
- ② 学校間交流、支援籍による交流及び共同学習の一層の充実に努める。
- ③ 本校への理解・協力を促進するために、積極的に教育活動の外部への情報発信を行う。